

ムアリングパイプ

Mooring Pipes

1. **適用範囲** この規格は、船に用いるムアリングパイプについて規定する。

引用規格：

JIS G 5101 炭素鋼鋳鋼品

2. **種類** 種類は、形状によって次の表のとおりとする。

表

種類	形状
A 形	長円形
B 形	円形

3. **形状及び寸法** 形状及び寸法は、付図 1 及び付図 2 のとおりとする。ただし、C 寸法は取り付けの都合によって適当に増幅してもよい。

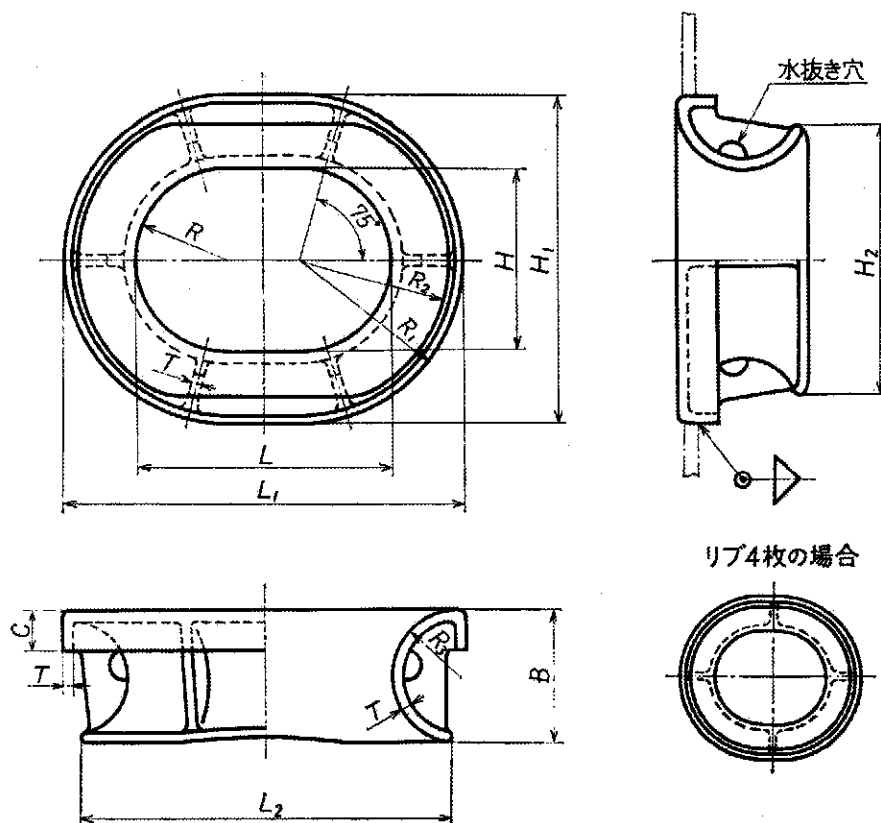
なお、ロープのすれる面は、滑らかに仕上げる。

4. **材料** 材料は、JIS G 5101（炭素鋼鋳鋼品）の SC42 とする。

5. **製品の呼び方** 製品の呼び方は、規格名称、種類及び呼び寸法による。ただし、規格名称の代わりに規格番号を用いてもよい。

例：ムアリングパイプ A 形 150 又は JIS F 2007 A 150

付図1 A形

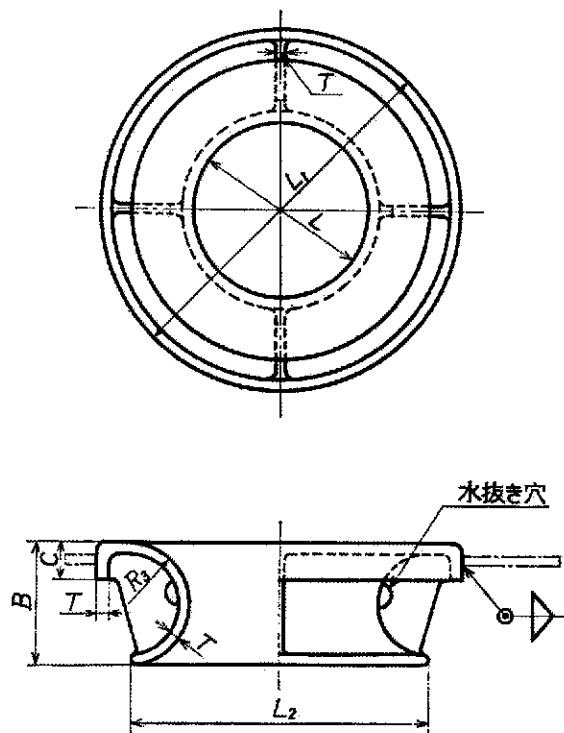


単位 mm

呼び寸法	L	L ₁	L ₂	H	H ₁	H ₂	B	C	R	R ₁	R ₂	R ₃	T	リブの数 (枚)	溶接脚長	計算質量 (kg)
150	150	300	270	110	260	202	129	40	55	130	115	65	12	4	5	15.1
200	200	368	334	150	318	250	143	42	75	159	142	72	12	4	5	20.5
250	250	430	394	200	380	308	155	44	100	190	172	78	12	4	5	26.9
300	300	500	460	250	450	372	169	52	125	225	205	85	15	4	6	42.7
350	350	560	518	250	460	378	179	55	125	230	209	90	15	6	6	50.8
400	400	632	586	250	482	394	195	60	125	241	218	98	18	6	7	76.3
450	450	700	650	250	500	406	209	62	125	250	225	105	20	6	8	102
500	500	760	708	250	510	412	219	65	125	255	229	110	20	6	8	115

呼び寸法	適用ロープの呼び径 (参考)		
	麻ロープ	ワイヤロープ	
150	40	16 (6×12)	—
200	45	18 (6×12)	—
250	50	20 (6×12)	—
300	60	22.4 (6×12)	—
350	70	—	24 (6×24)
400	80	—	26 (6×24)
450	85	—	30 (6×24)
500	90	—	35.5 (6×24)

付図 2 B 形



単位 mm

呼び寸法	L	L_1	L_2	B	C	R_3	T	リブの数 (枚)	溶接脚長	計算質量 (kg)
150	150	318	288	144	42	72	12	4	5	17.5
200	200	380	346	155	44	78	12	4	5	23.5
250	250	450	414	169	52	85	15	4	6	37.5
300	300	510	470	179	55	90	15	4	6	45.5

呼び寸法	適用ロープの呼び径 (参考)		
	麻ロープ	ワイヤロープ	
150	45	18 (6×12)	—
200	50	20 (6×12)	—
250	60	22.4 (6×12)	—
300	70	—	24 (6×24)

船舶部会 けい船用器具専門委員会 構成表（昭和 45 年 11 月 1 日改正のとき）

	氏名	所属
(委員長)	小 山 永 敏	横浜国立大学
	池 村 清	運輸省船舶局
	辺 見 隆 三	工業技術院標準部
	伊 奈 喜一郎	財団法人日本海事協会
	草 野 博	財団法人船舶 JIS 協会
	山 田 清	株式会社アジア船舶工業社
	大 友 義 雄	株式会社立野製作所
	寺 本 虎 夫	株式会社寺本鉄工所
	伊 藤 哲 司	三井造船株式会社千葉造船所
	松 浦 和 春	日本鋼管株式会社鶴見造船所
	花 田 堯之助	石川島播磨重工業株式会社横浜造船設計部
	浜 野 亮太郎	住友重機械工業株式会社船舶事業部
	平 山 了 也	日立造船株式会社堺工場
	河 澄 龍之介	川崎重工業株式会社造船事業部
	北 見 鎧 一	三菱重工業株式会社神戸造船所
	児 島 英 彦	佐世保重工業株式会社佐世保造船所
	奥 山 孝 志	社団法人日本中型造船工業会
	青 山 俊 久	ジャパンライン株式会社
	森 川 卓	社団法人日本船主協会
	平 野 静 雄	船舶整備公団
	菅 原 淳 夫	工業技術院標準部機械規格課
	前 川 武 也	工業技術院標準部機械規格課
(事務局)	大久保 和 夫	工業技術院標準部機械規格課（昭和 51 年 8 月 1 日改正のとき）
	江 口 信 彦	工業技術院標準部機械規格課（昭和 51 年 8 月 1 日改正のとき）